

『私を創ってくれた3つの作品』

スペースデザイン部会員 中島 直美

【作品 1】



1998年 新制作展新作家賞受賞作品
-Nature's Talk series 1998 -coti-
技法：シルクスクリーンプリント手捺染
素材：綿布（オックスフォード）
サイズ：460cm(H)x230cm(W)

黒一色で、点・線・面の表現技法と、平面の布に空間を構築し動的効果を試みた作品。

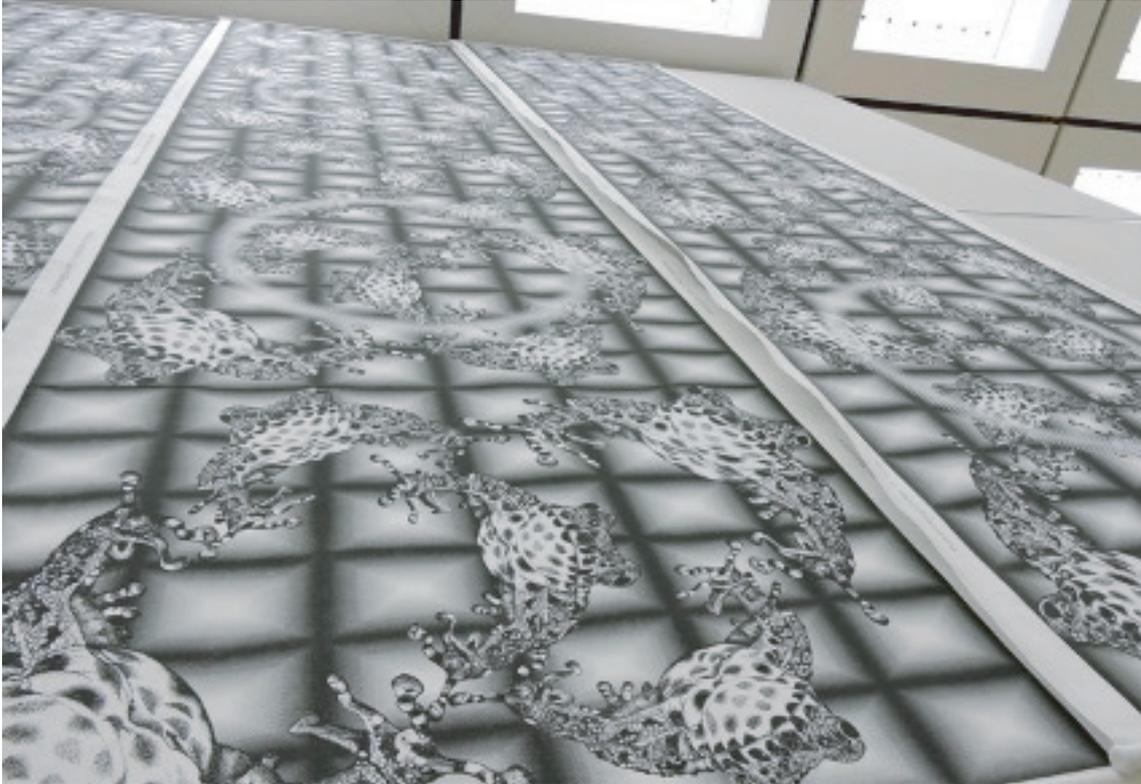
【作品 2】



2015年 -Nature' s Talk 2015- series Le coq -
技法：シルクスクリーンプリント手捺染
素材：綿布（オックスフォード）シルクオーガンジー（絹）
サイズ：460cm(H) x 340cm(W)

スリランカの街の中を歩いていたら、にわとりが食べ物を漁っている不思議な光景に出会った。にわたりのプリントとドイツ語のクロスワードパズルのパターンプリントを二層にすることで、にわとりが見えたり見えなかったりと静かな錯視と動的効果を表現した作品。

【作品 3】



2017年 -Nature' s Talk 2017 - series kaeru -
技法：シルクスクリーンプリント手捺染
素材：綿布（オックスフォード）
サイズ：460cm(H) x 340cm(W)

背景のグラウンドはデジタルイメージで表現。モチーフは日本一美しいと言われる“いしかわがえる”を宙に舞うように大きなアングルで展開、動的効果を表現した作品。

作品の前を横切った人がふと、振り返ってみたいくれるような作品を創れるように、がんばっていきたいと思います。デジタル化が当たり前の昨今ですが、アナログにこだわり、手仕事の大切さを感じながら、シンプルで楽しいデザインを創り続けたいと思います。くり返すパターンは、日々の生活と同じで人生そのもののように思います。作品を創れるしあわせを忘れずに前に進みたいと思います。



1956 山形県生まれ

1990 新制作展初入選、以後毎年 現在に至る。

1996・1998 新作家賞受賞・1999 新制作展 会員推挙

- 主な展覧会 -

1990-2021 新制作展 (東京都美術館・新国立美術館)

1991・93・97・99 デザインフォーラム銀座 (銀座松屋)

1994・2004・2005・2017 所蔵作品展 (東京国立近代美術館工芸館)

1994・95・96・97・98・99 Taegu Textile Exhibition '98 グランプリ受賞 (韓国)

1999-2000 日本の工芸今 100 選展 (パリ三越エトワール・日本三越巡回)

1998・2003 ミュルーズ染織美術館 -PAPOLES DE LA NATURE' 98' 03 個展 (France)

2004・2008・2018 ミュルーズ染織美術館 常設・所蔵作品展 (France)

2005-2012 テキスタイルの未来形 (大阪・金沢・札幌・福岡・沖縄・東京・網走)

2005・2006 miniartextile Como -Como・Sardegna・Venezia・Montrouge-(Italy・France)

2007 "Japanese Suppleness" Contemporary art from Japan " A Galleriet (Denmark)

2021 テキスタイルの未来形 in 宝塚 (神戸)

2021 国立工芸館 所蔵作品展 (金沢)

- 国内外個展・グループ展・企画展・招待 他多数 -

-Collection-

東京国立近代美術館工芸館・大邱文化芸術会館 (韓国)・ミュルーズ染織美術館 (France)・Arte & Arte(Italy)

技法：シルクスクリーン手捺染

作品コンセプト

テーマは -Nature' s Talk series- モチーフは動物。平面である真っ白な布の上に制限された空間の中で、上下左右バランスの良い飽きのこない緊張感あふれる、くり返すパターン展開を構成。新制作展では壁作品を発表しています。広い空間で作品を発表できることを嬉しく思っております。布は切ったり、縫ったり、包んだり自由自在。布以外の素材ではガラス、木、紙と色々な異素材にプリントしインスタレーションなどを展開し発表しています。

自作のホームページですが観ていただけたら幸いです。よろしく願いいたします。

→ <http://nnds.sub.jp/>